

令和5年度
事業報告

社会福祉法人 奈良県社会福祉事業団

目 次

1 総括	3
2 法人運営	3
3 奈良県障害者総合支援センターの運営状況	6
(1)わかくさ愛育園の状況	6
(2)自立訓練センターの状況	10
(3)総合相談支援センターの状況	13
4 県営福祉パーク(介護実習・普及センター)の運営状況	19
5 自動車事故被害者支援体制等整備事業(社会復帰促進事業)の実施状況	21
6 職員の状況	22

令和5年度事業報告

1 総括

奈良県社会福祉事業団が、平成18年度から、奈良県の設置する障害者総合支援センター、県営福祉パーク及び福祉住宅体験館の指定管理業務を受託して以来、令和5年度は5期2年目になります。

当事業団では、奈良県総合リハビリテーションセンターと緊密に連携して、障害の程度が重い方や重症心身障害児(者)に対して、理学療法士などの専門職による福祉サービスを提供するとともに、近年増加している高次脳機能障害者や発達障害児を対象とした支援を進めています。

令和5年度は新型コロナウイルス感染症対策も徐々に緩和されてきており、総合相談センターにおいては前年度から引き続き、伴走型支援体制を実現するため幅広い各種相談に対応しています。

2 法人運営

(1) 会議等

ア 理事会

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第1回	令和5年 5月24日	奈良県総合 リハビリテー ションセンタ ー	理事5名 監事2名	1 議決案件 (1)令和4年度事業報告 (2)令和4年度財務報告 (3)顧問の報酬等について (4)諸規程の変更等について (5)理事及び監事候補者の推薦について (6)評議員選任候補者の推薦について (7)評議員選任・解任委員の選任について (8)令和5年度第1回定時評議員会の招集につ いて
第2回	令和5年 6月14日	ホテルリガ レ春日野	理事4名 監事2名	1 議決案件 (1)理事長、副理事長、常務理事の選定について
第3回 書面決議	令和5年 7月18日		理事6名 監事2名	1 議決案件 (1)評議員選任候補者の推薦について

第4回	令和6年 3月27日	奈良県総合 リハビリテー ションセンタ ー	理事5名 監事2名	1 議決案件 (1) 令和5年度資金収支補正予算(案)について (2) 令和6年度事業計画及び資金収支予算(案) について (3) 規程の変更等について
-----	---------------	--------------------------------	--------------	--

イ 評議員会

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第1回	令和5年 6月14日	ホテルリガ レ春日野	評議員 7名 理事3名 監事2名	1 議決案件 (1) 令和4年度貸借対照表、収支計算書及び財 産目録の承認について (2) 理事及び監事の選任について

ウ 奈良県介護実習・普及センター運営委員会

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第1回	令和6年 3月	奈良県介護 実習・普及 センター	委員	新型コロナウイルス感染防止のため、書面により 意見聴取

エ 施設部経営管理改善委員会

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第1回 ～ 第12回	令和5年 4月28日 ～ 令和6年 3月25日	奈良県総合 リハビリテー ションセンタ ー	所長・副所長 施設部長 各施設長 リハビリセンター 看護部長、医事 課員	(1) 施設部の経営状況について (2) 当面の経営改善について (3) その他

オ 奈良県障害者総合支援センター、県営福祉パーク及び福祉住宅体験館の指定管理連絡会議

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第1回	令和5年 6月8日	奈良県障害者総合支援センター	ファシリティマネジメント室2名 障害福祉課2名	1 令和4年度事業報告及び決算状況について 2 重点取組事項について
第2回	令和6年 1月23日	奈良県障害者総合支援センター	ファシリティマネジメント室2名 障害福祉課1名	1 指定管理評価委員の意見について

(2) 広報事業

名称	発行時期等
ア ホームページ	随時更新
イ 利用者満足度調査 ・わかき愛育園 ・自立訓練センター ・総合相談センター ・県営福祉パーク	令和6年1月31日～2月9日 令和6年2月22日～3月8日 令和6年4月20日～4月30日 見学者及び研修講座の都度

(3) 監査

ア 監事監査

年月日	場所	監査事項
令和5年5月15日	奈良県障害者総合支援センター	1 令和4年度の業務執行状況について 2 令和4年度の財務状況について

イ 所轄庁の指導監査

年月日	場所	監査事項
令和5年8月25日	奈良県郡山総合庁舎	奈良県監査指導室 指導監査(集合監査)

3 奈良県障害者総合支援センターの運営状況

(1) わかくさ愛育園の状況

わかくさ愛育園は、児童福祉法に基づく「児童発達支援センター」として、親子間の心の絆をつくり、子どもの心を安定させることに留意しながら児童個々の必要に応じた機能回復訓練、感覚運動学習を含む基礎保育を展開し、日常生活における基本的な動作や知識技能の獲得、集団生活への適応の取り組みを進め、各児童の成長・発達を支援しました。

重症心身障害児(者)関係では、療育的な関わりに加え、生活経験を豊かにすることを目標に、スポーツレクリエーション、季節の行事、音楽などの活動や入浴サービス等生活介護を提供した。

また、障害児相談支援事業では、障害のある子どもたちとその保護者からの相談に応じ、抱える課題の解決や適切な障害福祉サービス等の利用に向けて、情報の提供及び助言を行い、併せて市町村及び障害福祉サービス事業者等との連絡調整を図るなど総合的な支援を行いました。

ア 通園児(者)入退所状況

(単位:人)

入退状況 施設別	定員	一日あたり利用者数	在籍児数					退所児童数	左の内訳					3/31在籍児(者)数	
			前年度引継	本年度			計		養護学校	小学校	幼稚園・保育所 並行通園の利用		他施設		家族等
				新規	並行通園から毎日通園	毎日通園から並行通園					無	有			
医療型児童発達支援センター	15	4.2	5	3			8	4	2		2				4
児童発達支援センター(知的)	10	6.8	20	1	0	5	22	13	2	9	1	1			9
	毎日通園	5.1	11	内並行へ 5	1	0		7	2	1		1			5
	並行通園	1.7	10	内毎日へ	0		5	15	11	1	9	1			4
保育所等訪問支援			0	13			13	0							13
児童発達支援センター(重心児)	8	3.1	10	1			11	1	1						10
放課後等デイサービス	7	3.8	20	1			21	3						3	18
居宅訪問型児童発達支援			0				0								0
生活介護	20	2.7	16				16	0							16
計	60	20.6	52	19		5	91	21	5	9	3	1		3	70
令和4年度	60	31.5	62	36			103	36	8	10	4	5	3	6	67

イ 利用児・者 年齢別状況(令和5年度中在籍児者)

令和6年3月31日現在 (単位:人)

満年齢 /学年	医療型児 童発達支 援センター	児童発達 支援セン ター (知的)	保育所等 訪問支援 事業	児童発達 支援セン ター (重心児)	放課後等 デイサービ ス	居宅訪問 型児童発 達支援	生活介護	計
0歳								0
1歳				1				1
2歳	1	1		1				3
3歳	1							1
4歳	2	1	1	5				9
5歳	2	9	4	3				18
6歳	2	11	7	1				21
小計	8	22	12	11				53
小1			1		1			2
小2					6			6
小3					1			1
小4					3			3
小5					1			1
小6					1			1
中1					1			1
中2					3			3
中3					1			1
高1					1			1
高2					1			1
高3					1			1
小計			1		21			22
18~19歳								
20~29歳							9	9
30~39歳							6	6
40歳以上							1	1
小計							16	16
合計	8	22	13	11	23	0	16	91
R4	10	40	0	13	22	1	17	103

ウ 発達障害児医学的療育支援事業の状況

○ 子ども地域支援事業

発達障害あるいは発達障害の疑いのある子どもが、地域社会の中で生き生きとした生活を送るために、保育園や幼稚園に作業療法士が出向き、感覚統合療法等を用いた専門的な支援を行うことを目的とした訪問事業及び研修会講師派遣事業を実施しました。

訪問事業・研修会講師派遣事業

(単位:件、人)

区 分	施設訪問事業		研修会講師派遣事業	
	件 数	相談児童数	件 数	研修会参加者
令和5年度	281	1, 197	16	401
令和4年度	270	1, 163	9	178

訪問事業の訪問先

(単位:件、人)

区 分	件 数	モデル事業	相談児童数	
幼稚園	68件	7件	298人	
保育園・子ども園	112件		520人	
小学校	49件		182人	
中学校	件		人	
教育委員会	件		人	
特別支援学校	件		人	
学童保育所	31件		125人	
療育教室	5件		16人	
児童発達支援	15件		59人	
放課後等デイサービス	1件		2人	
その他				
計	281件		7件	1, 197人

○ 当事業主催研修会の開催

基礎研修会 「子どもの行動理解と支援 ～作業療法・感覚統合の視点から～」

開催日 令和5年6月3日

対 象 保育士、教員、児童指導員など

参加者 75名

応用研修会 「子どもの行動理解と支援 ～グループワークで深めよう～」

開催日 令和5年7月22日

対 象 令和4年度、5年度基礎研修を受講した方

参加者 33名

放課後等デイサービス職員研修会 「子どもの行動理解と支援」

開催日 令和5年10月29日

対 象 放課後等デイサービス職員

参加者 21名

○ モデル事業

地域の施設(幼稚園)と継続的に連携することで得られる効果等を地域に還元する目的で実施。
1学期に6回訪問(1回あたり、1～2時間程度)。

令和5年度も別施設と連携して実施し、得られた情報をまとめた。

(2) 自立訓練センターの状況

障害者総合支援法に基づく指定障害者支援施設として、自立訓練(機能訓練・生活訓練)及び施設入所支援を実施しました。

利用者が地域社会で自立した生活を営むことを目標に、一人ひとりの能力や障害特性、ニーズに適した種々の訓練および創作活動やレクリエーションを提供してADLの向上を図るとともに、種々の福祉サービスや必要な制度の適用等の社会的支援を通して、利用者がスムーズに地域移行が果たせるように支援を進めてきました。

ア 日中活動サービス

○ 指定障害者支援施設の利用状況

(単位:人)

利用契約 状況 区分	定員	1日当たり 利用者数	実利用者数			契約 解除 数	左 の 内 訳				3/31 在籍 者数
			前年度 引継	本 年度	計		就職	他 施設	医療 機関	家庭 復帰	
自立訓練(機能)	40	14.1	20	13	33	15	3	6	1	5	18
自立訓練(生活)	25	16.9	27	20	47	24	6	8	0	10	23
計	65	31.0	47	33	80	39	9	14	1	15	41
令和4年度	65	29.7	61	25	86	34	5	12	2	20	47

○ 利用契約者の障害別状況

(単位:人)

区 分	脳血管疾患	脳性麻痺	脊椎損傷	頭部損傷	その他	計
自立訓練(機能)	26	1	1	2	3	33
自立訓練(生活)	28	0	0	13	6	47
計	54	1	1	15	9	80
令和4年度	63	1	1	14	7	86

○ 利用契約者の年齢別状況

(単位:人)

区 分	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
自立訓練(機能)	0	2	2	7	8	14	0	33
自立訓練(生活)	1	2	2	9	27	5	1	47
計	1	4	4	16	35	19	1	80
令和4年度	0	7	6	22	25	24	2	86

イ 施設入所支援サービス

○ 指定障害者支援施設の利用状況

(単位:人)

利用契約 状況 区 分	定 員	1日当たり 利用者数	実利用者数			契 約 解 除 数	左 の 内 訳				3/31 在籍 者数
			前年度 引継	本 年 度	計		就 職	他施 設	医療 機関	家庭 復帰	
令和5年度	30	19.3	18	15	33	16	1	6	1	8	17
令和4年度	30	17	21	11	32	14	0	4	0	10	18

○ 利用契約者の障害別状況

(単位:人)

区 分	脳血管疾患	脳性麻痺	脊椎損傷	頭部損傷	その他	計
令和5年度	29	1	0	2	1	33
令和4年度	29	1	1	1	0	32

○ 利用契約者の年齢別状況

(単位:人)

区 分	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
令和5年度	0	0	2	3	16	12	0	33
令和4年度	0	0	1	7	12	12	0	32

ウ 短期入所支援サービス

○ 指定短期入所事業の利用状況

(単位:人・日)

区 分	利用者数	延べ利用日数
令和5年度	4	62
令和4年度	4	28

○ 利用契約者の障害別状況

(単位:人)

区 分	脳血管疾患	脳性麻痺	脊椎損傷	頭部損傷	その他	計
令和5年度	2	0	1	1	0	4
令和4年度	1	1	0	2	0	4

(3)総合相談支援センターの状況

様々な個別性の高い相談に対して、ワンストップ相談窓口として機能することを目的として、高次脳機能障害支援センターに加え、難病患者や家族の福祉的課題の相談に対応する「難病サポートセンター」をオープンさせた。また、障害のある人の地域生活を包括的に支援する「伴走型支援体制」を強化した。

ア 高次脳機能障害支援センター運営事業の状況

高次脳機能障害者に対する支援を総合的に行う県の拠点として、本人等からの相談に応じ適切な指導又は助言を行うとともに、関係機関等との連携強化により、高次脳機能障害者に対する総合的な支援体制の整備を推進し、高次脳機能障害者及びその家族の福祉の向上を図った。

a. 個別相談事業、検査・診断事業

(単位:件)

区分	延べ 相談件数	左 の う ち			診 断	神経心理学 検査
		来所相談	訪問相談	オンライン相談		
令和5年度	2, 176	245	13	3	31	25
令和4年度	2, 532	307	11	5	56	50

b. 普及・啓発事業

○センター主催研修会

開催日程	研修会内容	参加人数(人)
令和5年11月4日(土) 13:30～16:00 奈良県産業会館	第1部 「高次脳機能障害とは～高次脳機能障害の基本的理解」 京都府リハビリテーション支援センター センター長 近藤 正樹 先生 第2部 「高次脳機能障害の回復のために『整えよう！注意機能』」 奈良障害者職業センター 所長 佐々木 直人 先生	61
令和6年3月8日(金) 14:30～16:30 オンライン(ZOOM利用)	第1部 「失語症とコミュニケーション」 国立障害者リハビリテーションセンター 高次脳機能障害支援者養成テキスト利用 第2部 「奈良県の失語症者支援について 意思疎通支援事業の現状」 西大和リハビリテーション病院 リハビリテーション部副技師長 道上千智 先生	61
参加者合計		122

開催日程	研修会内容	参加人数(人)
令和5年11月30日(木) 学校法人 青丹学園 関西学研医療福祉学院 (作業療法士学科生徒対象)	講義:「高次脳機能障害 ～その症状と支援について～」 講師:高次脳機能障害支援センター 河地 睦美	24
参加者合計		24

○家族会主催・実行委員会

開催日程	研修会内容	参加人数(人)
令和5年9月17日(日) 13:00～16:20 奈良県社会福祉総合センター	第1部 講演1 演題「高次脳機能とは～その回復の過程を含めて～」 講師:深川 和利先生 (大同病院・だいでうクリニック 高次脳機能障害センター長) 講演2 演題「高次脳機能障害をもつ患者さんに寄り添って、 現場で感じること」 講師:藤山 美由紀先生 (南医療生活協同組合 かなめ病院 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師) 第2部 体験発表 当事者家族 原 壽美子さん 第3部 座談会 深川 和利先生、藤山 美由紀先生、 原 壽美子さん、河地 睦美コーディネーター	114
参加者合計		114

○開催協力

開催日程	研修会内容	参加人数(人)
令和5年12月19日(火) 13:30～16:00 オンライン(ZOOM利用)	第1部「交通事故後に、脳で何が起っているのか？ ～高次脳機能障害の基礎知識～」 奈良医療センター 院長 平林 秀裕 先生 第2部「高次脳機能障害を支える福祉サービス」 河地 睦美 コーディネーター 「高次脳機能障害の訓練と地域生活 ～高次脳機能障害症例から～」 奈良県障害者総合支援センター 職員	46
参加者合計		46

令和5年度高次脳機能障害支援 ・ 普及事業参加者総数	306
----------------------------	-----

c. 地域相談機能の充実

○高次脳機能障害地域相談会開催（家族会・センター合同企画）

開催日程	相談会内容	参加人数(人)
令和5年10月15日(日) 奈良県中小企業会館	第1回 高次脳機能障害支援普及地域相談会	6
令和5年12月9日(土) 奈良県高次脳機能障害支援センター	第2回 高次脳機能障害支援普及地域相談会	5
参加者合計		11

d. その他

○高次脳機能障害者の自動車運転再開支援の検討

奈良県障害福祉課、奈良県作業療法士会、高次脳機能障害支援センター協働して、
平林秀裕先生(国立奈良医療センター)の指導のもと整備体制の検討に取り組む

◆ワーキング開催日程(令和5年4月11日、令和5年6月27日、令和5年10月17日、令和6年3月18日)

○全国会議等

・高次脳機能障害 地方支援拠点機関等全国連絡協議会

(令和5年6月28日・令和6年2月16日)※Web会議

・高次脳機能障害 支援コーディネーター全国会議

(令和5年6月28日・令和6年2月16日)※Web会議

・近畿ブロック高次脳機能障害支援コーディネーター会議(令和5年11月24日)

・近畿ブロック連絡協議会(令和5年11月24日)

・高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会

第1回: 令和5年4月21日(金)、第2回: 令和5年9月8日(金)、第3回: 令和6年3月15日(金)

イ 難病サポートセンター

難病サポートセンターでの個別相談及び各団体との連携

	相談件数 (延人数)	初回相 談件数 (人)	相 談 内 容	新規相談者疾患病名
令和5年 4月	3	1	身体障害者手帳交付について (管轄市町村との調整)	全身性エリトマトーデス(SLE)
令和5年 5月	1	1	特別障害者手当申請について	特発性多中心性キャッスルマン病
令和5年 6月	10	3	就労支援、障害者手帳の取得・制度利用 重度障害者向け意志伝達装置の利用訓練	特発性拡張型心筋症、ミトコンドリア病 ALS(筋萎縮性側索硬化症)
令和5年 7月	9	3	リハビリテーションについて(身体手帳なし医療証のみ) 臨床調査個人票の記入について	全身強皮症、後縦靭帯骨化症、 進行性核上性麻痺
令和5年 8月	4	2	就労支援について 障害年金申請について	潰瘍性大腸炎、下垂体前葉機能低下症
令和5年 9月	3	0	難病サポーター養成スキルアップ研修受講者の自立訓練センター見学要請	潰瘍性大腸炎、下垂体前葉機能低下症(継続)
令和5年 10月	9	1	身体障害者手帳診断書作成について 障害年金診断書作成について	TNF受容体関連周期性症候群、 多発性硬化症
令和5年 11月	2	0	障害年金申請手続き・手帳申請について	ミトコンドリア病
令和5年 12月	4	1	障害年金申請手続き、就労について	ミトコンドリア病、下垂体前葉機能低下症
令和6年 1月	1	1	リハビリテーションや自助具の開発	平山病
令和6年 2月	2	1	障害及び介護のサービスの利用	筋萎縮性側索硬化症
令和6年 3月	4	1	治療継続と所得保障(障害年金申請、医療費補助)	多発性硬化症、下垂体前葉機能低下症
相談件数 合計	52	15		

- 令和5年4月 ○奈良県総合リハビリテーションセンター内容関係機関へのちらし配布
○執務室の整備
- 令和5年5月 ○奈良県難病相談支援センター(郡山保健所)、奈良難病連 ちらし30部郵送
○奈良県内社会福祉協議会 メール ちらしご案内
- 令和5年6月 ○ホームページ開設 奈良県障害福祉課からのリンク依頼
○難病連訪問 意見交換(6月29日)
- 令和5年8月 ○難病サポーター養成スキルアップ研修(8月9日)参加(河地、田中) 難病サポーターセンター広報

ウ 地域づくり事業(包括的支援体制整備事業)

○令和5年8月27日(日) 奈良ロイヤルホテル

奈良市社会福祉協議会より「いってみーひん サマーカーニバル」おまつり

ユニバーサルスポーツコーナーの開設

体験スペース:モルック、コロコロ卓球、ボッチャ (参加者 50~60名)

7月12日 実行委員 奈良市社会福祉協議会、奈良市議会議員 自立訓練センター訓練視察、担当者打ち合わせ

7月28日 会場(奈良ロイヤルホテル)下見、担当者打ち合わせ

8月17日 実行委員会参加

○「足こぎ車椅子COGY(コギー)」普及啓発活動の協働

8月 4日 リハビリセンターにて業者(イカリトンボ)確認、奈良県での取り扱いなし

8月10日 総合相談センターにて打ち合わせ(生活支援センターおはな・中川氏)

9月15日 大阪ロボケアセンター(COGYショールーム)問い合わせ

10月6日 大阪ロボセンター見学(トレーナーとの面談)

○「生き活×VR」協力依頼

~持続可能な医療リハビリのためにVRを活用できないか~

○「福祉フェア・リハセンふれあい祭り2023」

9月29日 担当者会議

11月18日(土) 県営福祉パーク(福祉体験館)

ユニバーサルスポーツ実演・体験(コロコロ卓球) 体験者 約53名

2024年2月発行 地域フリーペーパー「たわらもとダイスキ」掲載

エ サービス利用計画相談

総合相談支援センター相談支援事業所(障害者) 相談実績

	計画相談件数	モニタリング件数
令和5年度	30	46
令和4年度	17	33

総合相談センター障害児相談支援事業所 相談実績

	計画相談件数	モニタリング件数
令和5年度	5	7
令和4年度	18	22

4 県営福祉パーク(介護実習・普及センター)の運営状況

県営福祉パークでは、高齢者や障害者を含め訪れたすべての人が、見て・触れて・体験しながら、相互理解を深め、介護を楽しく学べる場所として、公共施設モデル、多目的広場等の屋外施設や福祉住宅体験館の維持管理に努めた。

介護実習・普及センターでは、要介護者や介護者等からの各種相談に応じるとともに、介護実習を通じて介護知識・技術の普及啓発に努めた。福祉機器の展示では、近年関心の高まるICTを活用した見守り用福祉機器やコミュニケーション関連機器、転倒への対応、災害等に関するコーナーを充実させ、実際に手にとり試す機会を提供した。

奈良県福祉フェア第6回福祉機器展2023を開催し、多くの来場者に介護を取り巻く最新の情報を提供し、福祉事業所等と地域住民との交流の場となった。

介護体験見学講座では、介護分野の人材不足に対する解決策の一つとして、児童・生徒・学生等を対象に、介護を身近に感じ体験してもらう機会を設けた。民生児童委員等の研修としても活用され、県内各市町村にとどまらず、他府県よりの参加も多くあった。

ア 相談事業の実施状況

(単位:件、人)

区 分	件 数	相 談 者 数
令和5年度	36	45
令和4年度	29	38

イ 介護講座等の実施状況

(単位:回、人)

講 座 名	実 施 回 数	受 講 者 数
介護体験見学講座	39	1,204
介護普及講座	6	39
介護実践講座	5	44
介護予防講座	7	95
福祉住宅体験館案内ボランティア育成講座	1	3
自助具製作体験講座	3	53
自助具体験講座	2	15
夏休み親子介護体験講座	1	4
公開講座	1	14
第6回福祉機器展 (上記のうちボランティア関係分)	1	303 (15)
計	66	1,774
令和4年度	52	1,704

ウ 福祉パーク・福祉住宅体験館利用状況

(単位:人)

区 分	団 体 数	利 用 者 数
個人利用者		15,703
団体見学	39	1,204
計	39	16,907
令和4年度	36	30,162

エ 奈良県福祉フェア第6回福祉機器展2023

開催日：令和5年11月18日

開催内容：福祉機器展、ステージイベント、障害者作品展、福祉関連事業所の物品販売
住宅相談、福祉車両展示

後援団体：奈良県、田原本町、社会福祉法人奈良県社会福祉協議会 ほか15団体

参加団体：福祉関連事業所 12団体

障害者作品展 4団体

福祉機器展出展事業者 24社

福祉機器展協力事業者 4社

5 自動車事故被害者支援体制等整備事業(社会復帰促進事業)の実施状況

自立訓練センターでは、国土交通省(自動車局)の補助事業で、自動車事故により高次脳機能障害を有した者の社会復帰の促進を図る方策を検討することを目的として、高次脳機能障害を有する者が病院・事業者から地域への生活を円滑に移行するためのサポートを行った。

この事業によって国土交通省は高次脳機能障害の早期発見から自立訓練、地元復帰まで切れ目のない支援の実施を可能とするための方策の実現に向けた取組の検証を行う。

ア 事業内容

a ネットワーク構築支援事業

病院等とのネットワークを構築し、病院等と連携して高次脳機能障害を有する者の気づき・早期発見を促進しその評価実施につながる取組に関して病院とのネットワークを構築する。

b 自立訓練提供支援事業

高次脳機能障害に対応できる専門的知識を持つ職員が自立訓練の提供を行う。

c 地域連携支援事業

高次脳機能障害に対する理解・対応力を有する自立訓練を提供する事業所が、地元の市町村役場や福祉事業所等と連携することで高次脳機能障害を有する者が、地元での生活のための円滑な移行を目指す。

イ 事業実績

本事業の趣旨説明および協力依頼のための訪問実績

訪問先	訪問先数(延訪問回数)
病院	46ヶ所(89回)
事業所等	37ヶ所(45回)
市町村役場	41ヶ所(98回)

ウ 令和5年度補助額等(実績)

10,000千円 【補助率10/10】

6 職員の状況

○ 職員数

(単位:人)

		令和4年度 当初職員数	令和5年度 当初職員数	増減	備考
職員		52(6)	50(7)	△2	
内 訳	事務部	9	9	0	
	施設部	41(6)	39(7)	△2	
	福祉パーク	2	2	0	

日々雇用職員及び派遣職員を除く ()は非常勤職員数(内数)